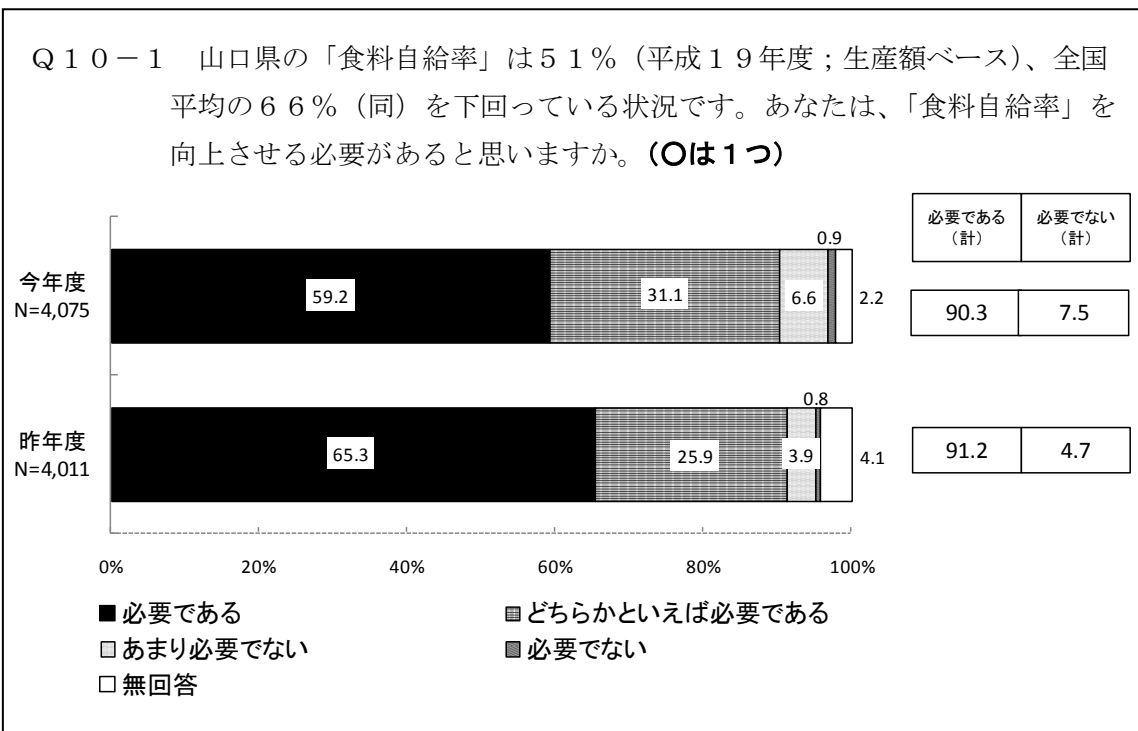


10. 食料自給率

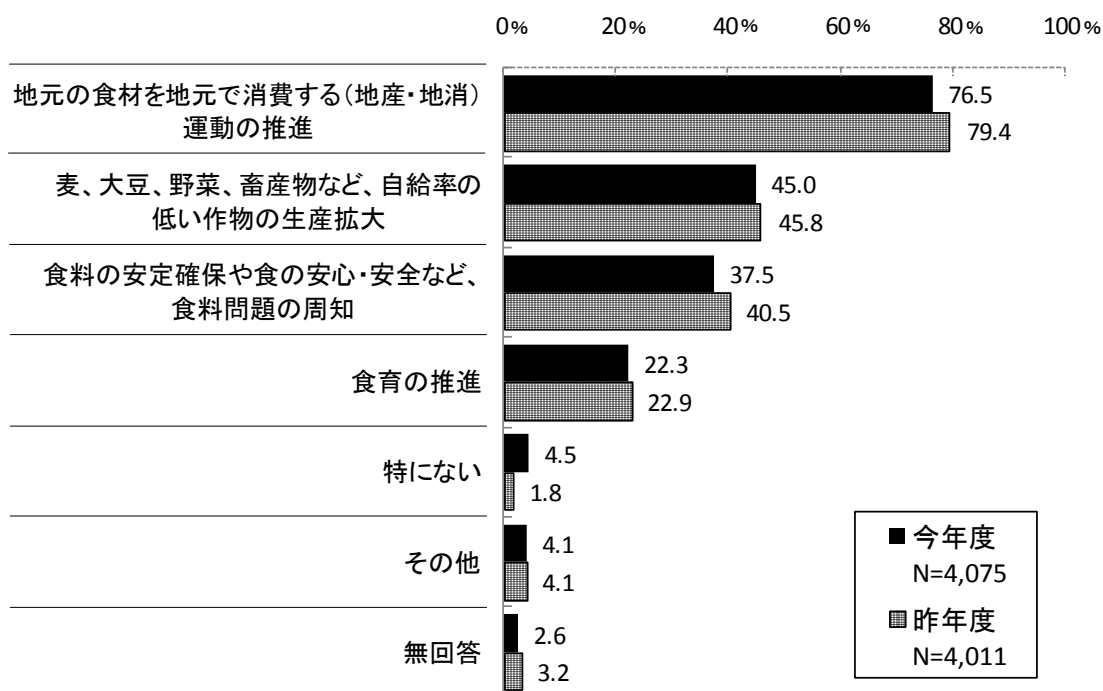
10-1. 「食料自給率」を向上させる必要度



「食料自給率」を向上させる必要度について、「必要である」が59.2%となっており、「必要である」と「どちらかといえば必要である」を合わせた『必要である（計）』では90.3%と9割を超えている。一方、「あまり必要でない」と「必要でない」を合わせた『必要でない（計）』は7.5%となっている。昨年度と比較すると、『必要である（計）』が0.9ポイント低下、『必要でない（計）』が2.8ポイント上昇している。

10-2. 「食料自給率」を向上させるために必要な取組

Q10-2 あなたは、「食料自給率」を向上させるためにどのような取組が必要と考えますか。(〇はいくつでも)



「食料自給率」を向上させるために必要な取組について、「地元の食材を地元で消費する(地産・地消)運動の推進」が76.5%と最も高く、次いで「麦、大豆、野菜、畜産物など、自給率の低い作物の生産拡大」(45.0%)、「食料の安定確保や食の安心・安全など、食料問題の周知」(37.5%)、「食育の推進」(22.3%)の順となっている。昨年度と比較すると、「食料の安定確保や食の安心・安全など、食料問題の周知」が3.0ポイント、「地元の食材を地元で消費する(地産・地消)運動の推進」が2.9ポイント低下している。